平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月12日

上場会社名　SHO-BI株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7819　URL　http://www.sho-bi.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺田　一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 鎌形　敬史　TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	3,382	△10.9	99	△64.8	138	△49.9	76	△49.2
24年9月期第1四半期	3,796	9.5	283	△28.6	276	△29.3	149	△27.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	5.67	―
24年9月期第1四半期	11.15	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	11,814	4,740	40.1
24年9月期	10,728	4,708	43.9

(参考) 自己資本　25年9月期第1四半期　4,740百万円　24年9月期　4,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	0.00	―	22.50	22.50
25年9月期	―				
25年9月期(予想)		―	―	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 9月期の業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,570	0.7	510	△5.3	490	△11.6	290	△16.0	21.63
通期	14,500	5.0	750	1.7	720	1.7	430	3.5	32.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	13,410,000 株	24年9月期	13,410,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	85 株	24年9月期	85 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	13,409,915 株	24年9月期1Q	13,409,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間（平成24年10月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、欧州債務危機等に伴う海外経済の減速と円高の影響による輸出企業の業績不振等から、厳しい状況が続きました。中でも、当社の主要取引先である小売業界においては、震災特需が一巡したことや気温の低下が遅れ季節商品の動きが鈍かったこと等を背景に全般的に売上は低調に推移しました。

このような状況の中で、当社は「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」のスローガンの下、「売上高成長による利益額拡大」という成長ステージの第２ステップの２年目に入り、既存売場の深耕、新規売場の獲得を強化するため商品企画力の強化を図るべく組織変更を行い、商品企画部の増強を図りました。今後は、ヘルス＆ビューティー関連商品を中心に商品カテゴリーを更に拡大して行く方針であります。また、海外市場においては、引き続き新規顧客の開拓を積極的に行う一方、前期に口座開設された顧客との取引額拡大を進めて参ります。

しかしながら、小売業界の売上が低調である影響に加え、前期に自社ブランドである「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」、「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」等大型商品の初期出荷があったことの反動やキャラクター関連商品販売が低調だったこと等により、当第１四半期累計期間の売上高は、3,382,449千円（対前年同期比10.9％減）となりました。売上減少に加え売上総利益率が低下したこと等により、営業利益は99,906千円（対前年同期比64.8％減）、経常利益は138,463千円（対前年同期比49.9％減）、四半期純利益は76,001千円（対前年同期比49.2％減）となりました。

当社は、単一の事業セグメントでありますが、取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。なお、当社は前事業年度まで事業部門を販売先の売場別（ヘルス＆ビューティー、ファンシー・キャラクター、その他）で区分して開示しておりましたが、平成24年10月１日付の組織体制の変更に伴い当第１四半期会計期間より化粧雑貨、服飾雑貨、その他の商品別の区分に変更して開示しております。

商品別の状況は次のとおりであります。

①化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズなどの売上が含まれます。当第１四半期累計期間の売上高は2,571,316千円(対前年同期比6.6％減)となりました。

②服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第１四半期累計期間の売上高は378,857千円(対前年同期比24.5％減)となりました。

③その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト等の売上が含まれます。当第１四半期累計期間の売上高は432,275千円(対前年同期比20.1％減)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第１四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて1,085,878千円増加し、11,814,703千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて930,325千円増加し、7,277,711千円となりました。これは主に、現金及び預金が257,839千円、受取手形及び売掛金が464,175千円、商品が109,421千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて155,553千円増加し、4,536,991千円となりました。これは主に、海外子会社への出資を行ったこと等により投資その他の資産のその他が187,410千円増加し、有形固定資産が20,133千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第１四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて1,053,565千円増加し、7,073,845千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて74,779千円増加し、3,455,584千円となりました。これは主に、買掛金が316,459千円、1年内返済予定の長期借入金が285,040千円増加し、短期借入金が500,000千円、未払法人税等が22,144千円、賞与引当金が74,600千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて978,785千円増加し、3,618,261千円となりました。これは主に、長期借入金が980,240千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第１四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて32,313千円増加し、4,740,857千円となりました。これは主に、繰延ヘッジ損益が239,696千円増加し、利益剰余金が225,721千円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年11月９日付で発表いたしました平成24年９月期決算短信記載の「平成25年９月期の業績予想」につきましては、現在のところ変更はございませんが、当第１四半期累計期間の経営成績を踏まえ、現在見直し作業を行っており、数値がまとまり次第業績予想の修正として開示いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,553,723	2,811,563
受取手形及び売掛金	2,374,117	2,838,293
商品	1,032,776	1,142,197
貯蔵品	94,781	105,700
その他	293,586	381,055
貸倒引当金	△1,600	△1,100
流動資産合計	6,347,385	7,277,711
固定資産		
有形固定資産	2,300,116	2,279,983
無形固定資産	152,495	147,934
投資その他の資産		
投資不動産	1,394,852	1,388,299
その他	535,617	723,027
貸倒引当金	△1,643	△2,253
投資その他の資産合計	1,928,826	2,109,074
固定資産合計	4,381,438	4,536,991
資産合計	10,728,824	11,814,703
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,587,804	1,904,264
短期借入金	500,000	－
1年内返済予定の長期借入金	547,200	832,240
未払法人税等	53,588	31,443
賞与引当金	128,000	53,400
返品調整引当金	28,100	36,400
その他	536,112	597,836
流動負債合計	3,380,804	3,455,584
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	1,463,350	2,443,590
退職給付引当金	120,515	115,243
役員退職慰労引当金	385,460	389,603
資産除去債務	28,830	28,901
その他	91,319	90,922
固定負債合計	2,639,475	3,618,261
負債合計	6,020,280	7,073,845

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年９月30日)	当第１四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	3,982,048	3,756,326
自己株式	△52	△52
株主資本合計	4,791,809	4,566,087
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,707	6,630
繰延ヘッジ損益	△71,557	168,139
評価・換算差額等合計	△83,265	174,770
純資産合計	4,708,544	4,740,857
負債純資産合計	10,728,824	11,814,703

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	3,796,686	3,382,449
売上原価	2,501,802	2,318,707
売上総利益	1,294,884	1,063,742
返品調整引当金戻入額	29,700	28,100
返品調整引当金繰入額	38,400	36,400
差引売上総利益	1,286,184	1,055,442
販売費及び一般管理費	1,002,663	955,535
営業利益	283,520	99,906
営業外収益		
受取利息	1,649	2,218
受取配当金	2,756	3,146
不動産賃貸収入	57,904	49,990
その他	6,970	15,098
営業外収益合計	69,281	70,453
営業外費用		
支払利息	8,535	10,062
不動産賃貸費用	19,487	15,299
為替差損	42,494	－
その他	6,121	6,535
営業外費用合計	76,638	31,897
経常利益	276,163	138,463
特別損失		
固定資産除却損	－	7
本社移転費用	6,413	－
特別損失合計	6,413	7
税引前四半期純利益	269,749	138,456
法人税、住民税及び事業税	69,200	28,330
法人税等調整額	50,993	34,124
法人税等合計	120,194	62,455
四半期純利益	149,554	76,001

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。